

# 2025年度(2026年3月期) 第3四半期 決算補足説明資料

2026年1月30日

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因により予想と大きく異なる場合があります。

## I. 2025年度（2026年3月期）第3四半期決算

## 連結損益比較表（サマリー）

	2025年度3Q末	2024年度末	比較増減	
連結子会社	112社	111社	+1社	増加:4社 減少:3社
持分法適用関連会社	15社	13社	+2社	増加:2社
合計	127社	124社	+3社	

(単位:百万円)	2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	比較増減	増減率	主な増減要因
営業収益	881,504	804,380	+77,124	+9.6%	
営業利益 (事業利益)	111,243 (112,143)	92,661 (93,615)	+18,581 (+18,528)	+20.1% (+19.8%)	4ページ参照
営業外収益	19,686	17,534	+2,151		持分法による投資利益 +482
営業外費用	15,225	12,173	+3,052		支払利息 +2,673
経常利益	115,703	98,023	+17,680	+18.0%	
特別利益	2,537	2,027	+509		
特別損失	9,423	4,597	+4,825		固定資産撤去損失引当金繰入額 +6,265
親会社株主に帰属する 四半期純利益	73,800	67,974	+5,825	+8.6%	

(参考)

減価償却費	51,096	47,525	+3,571
金融収支(A)-(B)	△9,191	△7,030	△2,160
受取利息及び配当金(A)	2,267	1,754	+513
支払利息(B)	11,458	8,785	+2,673

(注)事業利益=営業利益+海外事業投資に伴う持分法投資損益

## セグメント別営業成績（サマリー）

### ●当期業績のポイント

都市交通事業やホテル事業を中心に大阪・関西万博の開催に伴う需要を取り込んだことや、不動産事業においてマンション分譲収入が増加したことなどに加えて、阪神タイガースがリーグ優勝を遂げるなどスポーツ事業が好調に推移したこと、旅行事業において海外旅行の取扱が増加したこと等により、増収・増益

(単位:百万円)	都市交通	不動産	エンタテインメント	情報・通信	旅行	国際輸送	その他	調整額	連結
営業収益	2025年度3Q累計	162,357	270,173	73,313	48,367	233,153	78,969	48,362	△33,193
	2024年度3Q累計	154,125	241,592	66,686	47,160	201,331	77,833	46,722	△31,071
	比較増減	+8,232	+28,580	+6,627	+1,207	+31,821	+1,136	+1,639	△2,121
営業利益（事業利益）	2025年度3Q累計	32,449	50,044	15,699	3,397	9,976	1,421	2,524	△4,270
			(50,945)						(112,143)
	2024年度3Q累計	29,887	40,534	14,593	3,638	7,559	△1,739	2,496	△4,308
	比較増減	+2,562	+9,509	+1,105	△240	+2,417	+3,160	+28	+37
			(+9,456)						(+18,528)

(注) 1. 事業利益=営業利益+海外事業投資に伴う持分法投資損益

2. 都市交通セグメントにおける流通事業の一部子会社の収益及び費用について、2025年度よりその他セグメントに含めて表示しており、比較期である前年同期の数値も組み替えて表示している。

## 都市交通セグメント

大阪・関西万博の開催等もあり、鉄道事業における阪急線・阪神線の運輸収入や自動車事業の運送収入が増加したこと等により、増収・増益

(単位:百万円)	2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	162,357	154,125	+8,232	+5.3%
営業利益	32,449	29,887	+2,562	+8.6%
〔業態別内訳〕				
	営業収益 2025年度 3Q累計	営業収益 2024年度 3Q累計	比較増減	営業利益 2025年度 3Q累計
鉄道事業	1,209億円	1,152億円	+57億円	331億円
自動車事業	362億円	334億円	+27億円	38億円
流通事業	60億円	65億円	△5億円	12億円
都市交通その他事業	57億円	57億円	△0億円	4億円
(注)別途、本社費・調整額があるため、上表の合算値とセグメント数値は一致しない。				
				3億円
				+1億円

(注)別途、本社費・調整額があるため、上表の合算値とセグメント数値は一致しない。

## «都市交通» 鉄道運輸成績

### «阪急電鉄»

(単位:百万円、千人)	収入				人員			
	2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	比較増減	増減率	2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	比較増減	増減率
定期外	49,361	46,680	+2,681	+5.7%	227,345	217,888	+9,457	+4.3%
定期	25,635	25,073	+561	+2.2%	251,329	245,059	+6,269	+2.6%
うち通勤	22,208	21,735	+473	+2.2%	173,682	169,885	+3,797	+2.2%
うち通学	3,426	3,338	+88	+2.6%	77,646	75,173	+2,472	+3.3%
合計	74,996	71,753	+3,243	+4.5%	478,674	462,947	+15,727	+3.4%

### «阪神電気鉄道»

(単位:百万円、千人)	収入				人員			
	2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	比較増減	増減率	2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	比較増減	増減率
定期外	19,016	17,369	+1,646	+9.5%	95,945	89,045	+6,899	+7.7%
定期	9,775	9,420	+355	+3.8%	97,509	94,644	+2,864	+3.0%
うち通勤	8,822	8,489	+332	+3.9%	77,428	75,102	+2,326	+3.1%
うち通学	952	930	+22	+2.4%	20,080	19,542	+538	+2.8%
合計	28,791	26,790	+2,001	+7.5%	193,454	183,690	+9,764	+5.3%

- (注) 1. 収入は百万円未満を、人員は千人未満をそれぞれ切り捨てて表示している。
2. 阪急電鉄の定期外収入・人員には、PiTaPa区間指定割引運賃適用の収入・人員を含んでいる。
3. 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計である。
4. 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、定期外収入・定期収入(通学除く)には鉄道駅バリアフリー料金を含んでいる。

## 不動産セグメント

住宅事業において高価格帯のマンションを分譲したことや、海外不動産事業が伸長したことに加えて、賃貸事業において各物件が堅調に推移したほか、当期に短期回収型の物流施設を売却したこと等により、増収・増益

(単位:百万円)	2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	270,173	241,592	+28,580	+11.8%
営業利益 (事業利益)	50,044 (50,945)	40,534 (41,488)	+9,509 (+9,456)	+23.5% (+22.8%)
【業態別内訳】				
	2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	比較増減	2025年度 3Q累計
賃貸事業等	1,488億円	1,363億円	+125億円	381億円
住宅事業	893億円	771億円	+122億円	141億円
海外不動産事業	102億円	66億円	+36億円	47億円 (56億円)
ホテル事業	529億円	502億円	+27億円	44億円
				354億円
				87億円
				14億円 (24億円)
				+27億円
				+54億円
				+33億円 (+32億円)
				+1億円

(注)1. 別途、本社費・調整額があるため、上表の合算値とセグメント数値は一致しない。

2. 事業利益=営業利益+海外事業投資に伴う持分法投資損益

3. 不動産セグメントの業態名称について、2025年度から、「賃貸事業」を「賃貸事業等」へ、「分譲事業等」を「住宅事業」へ変更している。また、従来「分譲事業等」に含めていた

プロパティマネジメント・ビルメンテナンス事業と不動産ファンド・リート事業の収益及び費用を、「賃貸事業等」に含めて表示することとしており、比較期である前年同期の数値も組み替えて表示している。

## エンタテインメントセグメント

ステージ事業は宝塚歌劇の公演回数が増加したものの、梅田芸術劇場の公演回数の減少や歌劇関連商品の減収等により減収・減益。一方で、阪神タイガースがリーグ優勝を遂げるなど、スポーツ事業が好調に推移したこと等により、全体では増収・増益

(単位:百万円)	2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	73,313	66,686	+6,627	+9.9%
営業利益	15,699	14,593	+1,105	+7.6%

〔業態別内訳〕	営業収益			営業利益		
	2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	比較増減	2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	比較増減
スポーツ事業	486億円	410億円	+76億円	152億円	128億円	+24億円
ステージ事業	246億円	256億円	△10億円	20億円	32億円	△12億円

(注)別途、本社費・調整額があるため、上表の合算値とセグメント数値は一致しない。

## 情報・通信セグメント

情報サービス事業において交通ターミナルの運営システム関連の受注があったことや、放送・通信事業においてインターネットサービスの加入者が増加したこと等により増収となったものの、諸費用が増加したことにより減益

(単位:百万円)	2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	48,367	47,160	+1,207	+2.6%
営業利益	3,397	3,638	△240	△6.6%

## 旅行セグメント

海外旅行において長距離方面のツアーの取扱が増加したことや、国内旅行が堅調に推移したことに加えて、大阪・関西万博の輸送支援業務を受注したこと等により、増収・増益

(単位:百万円)	2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	233,153	201,331	+31,821	+15.8%
営業利益	9,976	7,559	+2,417	+32.0%

日本・東アジア・アセアンにおいて航空輸送の取扱が回復してきたこと等により、増収・増益

(単位:百万円)	2025年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	78,969	77,833	+1,136	+1.5%
営業利益	1,421	△1,739	+3,160	—

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)	2025年度3Q末	2024年度末	比較増減	主な増減要因
資産の部	流動資産	708,334	618,119	+90,215 販売土地及び建物 +93,770
	固定資産	2,734,620	2,665,334	+69,285 投資有価証券 +75,914 有形・無形固定資産 △7,797
	資産合計	3,442,955	3,283,453	+159,501
負債の部	流動負債	529,144	536,001	△6,856
	固定負債	1,728,594	1,614,992	+113,602
	負債合計	2,257,739	2,150,993	+106,745
純資産の部	株主資本	1,024,411	975,572	+48,839 親会社株主に帰属する四半期純利益 +73,800 支払配当 △19,156
	その他の包括利益累計額	62,411	60,319	+2,091
	非支配株主持分	98,393	96,568	+1,825
	純資産合計	1,185,216	1,132,460	+52,755
	自己資本比率	31.6%	31.5%	+0.1 p

(注)ネット有利子負債=有利子負債-現金及び預金

## II. 2025年度（2026年3月期）通期業績予想

## 連結損益比較表（サマリー）※2025年10月発表予想から変更なし

3Q累計の営業利益(事業利益)については、都市交通事業・不動産事業を中心に相応に上振れて進捗している。一方、今後も労務費や資材価格の上昇が見込まれる中、都市交通事業では将来的な運賃改定は視野に入れつつ、バリアフリー設備の整備などの設備投資や修繕工事を実施することに加え、各事業においても、次年度の業績を見据えて、4Qに販売促進費をはじめとした諸費用等を積極的に執行することから、前回公表値を据え置く

(単位:億円)	2025年度10月予想	2024年度通期実績	比較増減	増減率
営業収益	12,000	11,069	+931	+8.4%
営業利益 (事業利益)	1,274 (1,290)	1,109 (1,121)	+165 (+169)	+14.9% (+15.1%)
経常利益	1,250	1,112	+138	+12.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	780	674	+106	+15.8%

(注)事業利益=営業利益+海外事業投資に伴う持分法投資損益